



発行 東村山市 編集 経営政策部広報聴課
 住所 〒189-8501 東村山市本町1-2-3

電話 042-393-5111(代表)
 FAX 042-393-6846(代表)

ホームページ <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>
 携帯電話用 <http://mobile.city.higashimurayama.lg.jp/>



市制施行50周年記念特別展



しも やけ べ
下宅部遺跡展

うるし
縄文の漆

下宅部遺跡は多摩湖町から発見された、縄文時代を主とした低湿地遺跡です。さまざまな有機質遺物が出土していて、特に漆工関連資料(東京都指定文化財)が充実しています。工芸的にも優れた製品が数多く出土していますが、漆樹液の採取から調整加工や塗布、さらには補修技術など、縄文時代の漆工技術の全てを知ることができます。

12月21日(日)まで

★入館は午前9時30分～午後4時30分

※月・火曜日休館(祝日の場合は翌日休館)

★入館無料(通年)

問ふるさと歴史館

「縄文時代の植物利用」

第2会場 八国山たいけんの里

縄文人が見ていた風景がわかる!

展示・紹介

- 縄文時代の植物利用に関する最新の研究成果の紹介
- カゴ編み技術の紹介
- 生のまま出土した種子など、食料としての植物の紹介
- 縄文の布である編布の復元実験過程や編む工程を展示 ほか



土器に焦げ付いた縄文アズキ

展示説明会

10月19日(日)、11月1日(土)～3日(祝)・16日(日)・30日(日)、12月7日(日)・14日(日)午後1時30分から、午後3時から

「縄文の漆」

第1会場 ふるさと歴史館

縄文人の高度な技術にビックリ!

下宅部遺跡出土資料写真展

○写真家(野中昭夫氏)による漆資料を中心とした写真展

展示・紹介

- 縄文時代の漆工技術に関する最新の研究成果の紹介
- 下宅部遺跡の概要説明
- 丸木舟未成品の展示
- 復元画・立体写真の展示
- 出土品の展示 ほか

展示説明会

10月18日(土)・25日(土)、11月15日(土)・29日(土)、12月6日(土)・13日(土)午前11時から、午後4時から



赤色漆塗り土器(ベンガラ)

バラバラの土器片を組み立てて復元します。今でも光沢が残っていて、非常に質の良い漆であることがわかります。



POINT! 下宅部遺跡のここがすごい!
 漆の加工・製造過程が詳細にたどれる!

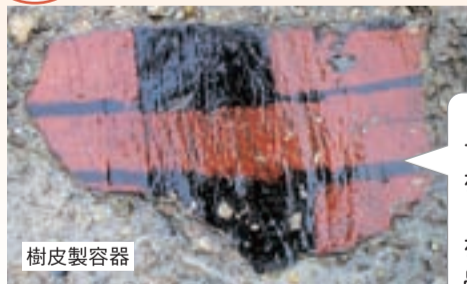


漆液容器

漆液を入れていた容器です。縄文時代の漆がここにあります!



POINT! 下宅部遺跡のここがすごい!
 縄文人の指紋つきの土器がある!



樹皮製容器

POINT! 縄文人のここがすごい!

縄文時代の漆加工技術は、すでに現代と同等のレベルだった!

日本で最初に発見された「縄文時代の漆掻き傷のある木」です。木の太さや状態を見極めて間隔を決め、等間隔に傷を付けて樹液を採取していました。

黒曜石で傷をつけて漆樹液を採取します。



傷口から染み出す漆樹液(再現実験)

木から剥いだ樹皮に漆を塗った容器(一部)です。全面に黒色を塗ったあと赤色を塗り文様を描いています。

このほかにも、粘りのある漆で立体的な模様を描いた髪飾りなど、高度な技術がわかる工芸品が多数出土しています。



漆塗りの弓

POINT! 下宅部遺跡のここがすごい!

こんなに具体的な生活のようすがわかる遺跡はめずらしい!

糸や樹皮を巻いて漆で塗り固めた弓は強く折れにくい高性能な弓で、狩りに使われました。

POINT! 縄文人のここがすごい!

下宅部遺跡の遺物は今から約2,700～4,000年前の縄文時代のものが中心です。すでに高度な技術が確立され、使用する材料にも強いこだわりを持って人々が生活をしていました。



野口町3-48-1
 (☎390-2161)
 ※西武園線西武園駅下車徒歩8分

徒歩
 約15分

諏訪町1-6-3
 (☎396-3800)
 ※西武新宿線東村山駅西口下車徒歩8分

付随事業

場ふるさと歴史館 各講演先着50名
 日10月16日(木)午前9時30分から電子申請又は電話でふるさと歴史館(☎396-3800)へ

講演会「下宅部遺跡の漆と植物利用」
 下宅部遺跡の発掘にあたった学芸員による講演です。新たな研究成果を交えながら下宅部遺跡の漆や麻、ササなどの植物利用についてお話しします。
 日10月25日(土)午後2時～4時
 費100円(資料代)

特別講演会「縄文時代の漆文化」
 全国各地の漆資料に関する最新の情報を交えながら、縄文時代の漆文化についてお話しします。
 日11月22日(土)午後2時～4時
 費200円(資料代)
 講永嶋正春氏(元国立歴史民俗博物館教授)